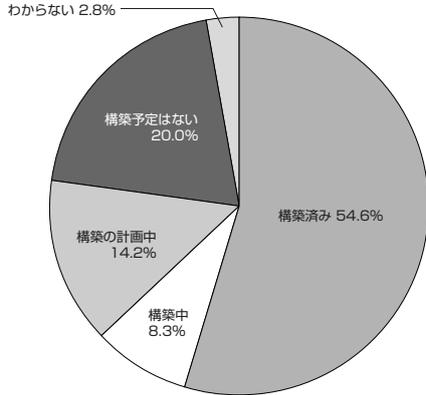


第4章 企業

イントラネット

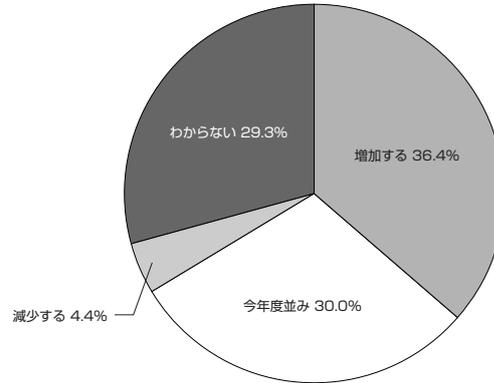
運用予算は増加の傾向

資料1-4-30 イントラネットの構築有無 N=1487



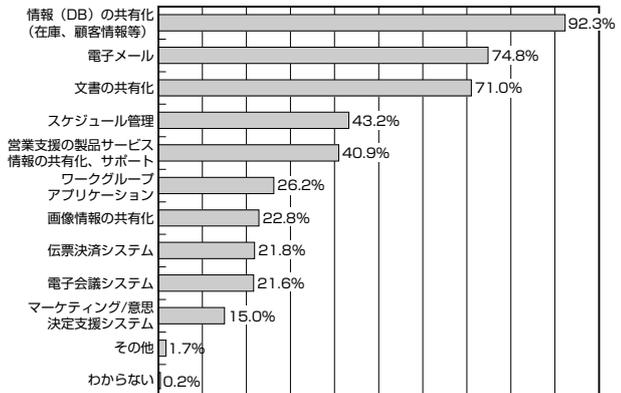
インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

資料1-4-31 来年度のイントラネット予算 N=1147



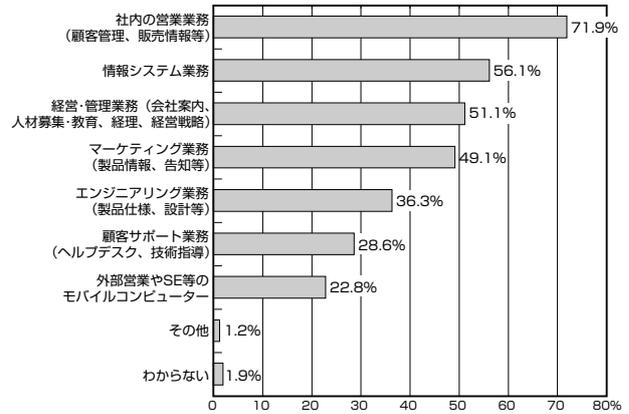
インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

資料1-4-32 イントラネットの構築目的 N=1147



インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

資料1-4-33 イントラネットの対象業務範囲 N=1147



インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

解説

イントラネットの構築はこの4年間で着実に増加してきたが、今年にはさらに増加し、構築済みの企業の比率はインターネット利用企業の過半数を超えた(資料1-4-30)。

イントラネット構築済み企業のイントラネット年間予算額は平均で2851.4万円となっており、昨年に比べると予算額は若干減少傾向にある。ただし、今後の予算額の予測では「増加する」「今年並み」がそれぞれ3割を超えており、運用予算は順調に推移するとみてよいだろう(資料1-4-31)。

イントラネットは企業規模に関わらず構築される傾向が強いが、その目的となるとやや傾向が異なる(資料1-4-32)。全体的に多目的に(平均約4.5種類の目的が挙げられている)利用しようとする傾向は昨年同様5000人以上の企業で強いが、今年には最も小さい0~9人規模でも同様の傾向(平均4.8種類)がみられる。こ

のような規模の小さな企業ではいったん導入したものを広範囲にわたり徹底的に利用しようという意気込みが伺える。特に「営業支援の製品サービス情報の共有化、サポート」や「ワークグループアプリケーション」、「電子会議システム」、「スケジュール管理」などで中大規模企業の数値をしのいでいる。

構築の目的同様、イントラネット対象業務範囲(資料1-4-33)も5000人以上と0~9人規模の企業で広い点が特徴となっている。また、1万人以上の最も大きい規模では「社内の営業業務(顧客管理、販売情報)」や「外部営業やSEなどのモバイルコンピューター」などの目的が1万人以上の規模で高くなっている。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp